



心をつなぐ、社会をつなぐ



トップメッセージ

最適なICTソリューションにより、
持続可能な社会の実現に向け貢献
してまいります。

はじめに

私たちNTTコムウェアグループは「心をつなぐ、社会をつなぐ」をスローガンに掲げ、日本の重要な通信インフラを支え続ける技術力を核とし、社員一人ひとりが、各分野のプロフェッショナルとして、お客さまに最適なICTソリューションを提供してきました。

また、人と人とのコミュニケーションを便利で安心、より楽しく、温もりのあるものにするために、お客さまから求められる「品質」と「信頼性」を追求し続けています。

最適なソリューション開発

2015年度も私たちは、さまざまな取り組みを通じて豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献してまいりました。

具体的には、「光BOX+*1」にHEMS*2コントローラー機能を組み込み、家庭における電力使用量の見える化とエアコンやガス給湯器等の機器制御を可能とした「HEMSサービス」の提供、日本の伝統文化である能楽の独特な表現をよりわかりやすく説明した文字(多言語)をタブレットへ配信する「新たな鑑賞ソリューション」の開発、多様な端末から会社内の業務情報へクラウド技術を活用した安全なアクセス機能とチャット機能により、柔軟な働き方を実現



するモバイルアプリケーション「シャナイン」などを提供しています。

- *1 光回線をテレビに接続することで簡単に「スマートTV」化してインターネットに接続しさまざまなコンテンツをお楽しみいただけるセットトップボックス。「光BOX」は、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の商標です。
- *2 エネルギーの効率的な利用推進のため電力の見える化や各家電機器の遠隔制御等の家庭内のエネルギーを管理するエネルギー管理システム(Home Energy Management System)。

安心安全なサービス提供と人材開発

NTTコムウェアがお預かりするお客さまの大切なデータを堅牢に守るため、以前からデータセンターの信頼性を高めてきました。2015年度には「SOC2保証報告書」【Type2】を取得し、これまで以上にお客さまが安心してサービスをご利用いただける環境づくりに取り組んでいます。

さらには、最適なICTソリューションを提供するために必要な社員のスキルアップに取り組んでいます。ITスキル標準(ITSS*3)に準拠した社内スキル認定制度「ComCP」に

ついては、IT人材の発掘・育成・排出を担う政策実施機関である情報処理推進機構(IPA)から認定情報技術者「CITP」企業認定を受け、社内・NTTグループに限らず、国内における公的な認定資格に位置づけられました。

*3 情報処理推進機構(IPA)が定めた各種IT関連サービスの提供に必要とされる能力を明確化・体系化した指標。

CSRの推進

NTTコムウェアは2017年度に創業20周年を迎えます。創業以来、日本の情報通信インフラを支えて来たノウハウ、ミッションクリティカルなシステムの開発・運用の経験を活かし、ICTソリューションを提供してきました。今後、私たちの強みであるICTにおける総合力とも言える3つのコア・コンピタンス(Infrastructure Integrator、Innovative Migrater、Fundamental Operator)を活かし、「お客さまのビジネスパートナー」として、お客さまに最適なキャリアグレードのICTソリューションを提供すべくさらなる挑戦を続け、期待され続ける企業でありたいと考えています。

また、事業活動にあたっては、コンプライアンス・企業倫理・人権等の重要性について、社員一人ひとりが理解し遵守するとともに、ダイバーシティ・マネジメントを重要な経営戦略と位置づけ、女性や障がい者の採用と育成、さらには社会貢献活動や環境活動など、あらゆるCSR活動を着実に推し進めていくことにより、持続可能な社会の実現に向け貢献してまいります。

NTTコムウェア株式会社
代表取締役社長

海野 忍

私たちの事業

ICTが日常生活に浸透する中、NTTコムウェアのサービス・ソリューションは、社会のさまざまな場面で皆さまの「快適で安心な」生活を支えています。

Our Core Competence

私たちのコア・コンピタンス

NTTコムウェアは、これまで培った経験とノウハウを活かしつつ、最先端の技術力で、あらゆるお客さまのビジネス発展を支援するため、コンピタンスの強化・変革を続けています。

Infrastructure Integrator

通信キャリアの使用に耐える最適・高品質なICT基盤を土台に、マルチベンダ基盤技術を駆使し、世界中のあらゆる先進技術を組み合わせることでお客さまのビジネスに最適なソリューションを提供します。

Innovative Migrater

ミッションクリティカルなシステムやネットワークの数々を更改してきた実績をベースに、ローコスト、ハイスピードの開発・移行を実現し、経営環境の急速な変化に柔軟に対応します。

Fundamental Operator

NTTグループ内外の技術・ノウハウを結集し、オペレーションの自動化・高度化を図り、ローコストで国際水準のオペレーションを実現します。

Our Services and Solutions

主なサービス・ソリューション

企業データ基盤

社内外の膨大なデータを系統的・統合的に管理(マスターデータマネジメント)し、即時・バッチ問わず高速に処理・提供することでお客さまの迅速かつ高精度な意思決定や情報活用に貢献します。

人材マネジメントソリューション

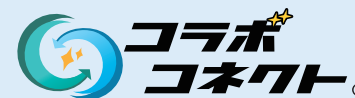
企業の競争力をアップする人事ソリューションです。タレントマネジメント・グローバル人事による最適な人材配置の実現および競合他社と差をつける人材戦略の実現をサポートします。

IT基盤最適化ソリューション

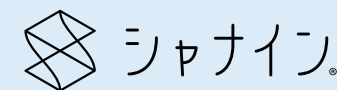
システム基盤の統合・最適化を実現するため、コンサルティングから設計・構築・運用までワンストップで提供するソリューションです。お客さまのIT変革をサポートします。



キャリアグレードの信頼性とシステムインテグレーションの実績をもとに、お客さま要件に合わせたクラウドを提供します。お客さまのIT基盤活用や、TCO削減を実現します。



光コラボレーション(光コラボ)事業に不可欠な顧客・契約・料金管理などの機能を提供するソリューションです。円滑でスピーディーな光コラボ事業参入、事業運営を支援します。



企業向けのセキュリティを備えた、カンタン操作のモバイルアプリケーションで、外出先や在宅でもオフィスと協働するためのコミュニケーションを支援します。

*「SmartCloud(スマートクラウド)」、「SmartCloud」ロゴ、「コラボコネクト」、「コラボコネクト」ロゴ、「シャナイン(Shanaing)」、「シャナイン」ロゴは、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。

私たちのCSR

NTTコムウェアは、持続可能な社会に貢献する企業グループであり続けるため社会の変化を見据えつつ、多面的なCSR活動を、グループ一体で展開しています。

Core CSR Theme

マテリアリティの考え方と、重点領域（CSRテーマ）

THEME 01

人と社会のコミュニケーション



- 私たちの約束
私たちは、ICTリーディングカンパニーとして、技術の力と現場の力で、社会の発展に貢献します
- 重視している「社会の変化」
 - ✓ 社会のインフラを支えるICT
社会の基盤インフラとして不動となったICT
 - ✓ IoTの進化
多くの機器がネットワークでつながり、制御される「新たな社会」

THEME 02

人と地球のコミュニケーション



- 私たちの約束
私たちは、ICTの力を結集し、事業活動におけるグリーン化に向け、日々、挑戦します
- 重視している「社会の変化」
 - ✓ 地球温暖化の進行
急がれる社会の低炭素化
 - ✓ 生物多様性の減少
人類の持続可能性の観点からも重要な「多様性」
 - ✓ 資源の「希少化」
途上国の発展と、限りある資源の問題

THEME 03

安心・安全なコミュニケーション



- 私たちの約束
私たちは、情報インフラ企業の使命を胸に、皆さまの安心で安全な生活を支え、守ります
- 重視している「社会の変化」
 - ✓ 「サイバー犯罪」の深刻化
多様かつ巧妙、グローバル化する問題
 - ✓ 高頻度で続く自然災害
災害の激甚化による、経済的影響の深刻化

THEME 04

チームNTTのコミュニケーション



- 私たちの約束
私たちは、チームとして、企業市民として、調和ある事業を進めていきます
- 重視している「社会の変化」
 - ✓ 企業倫理、人権意識の高まり
「ブラック企業」問題など、普遍の命題へと、高まる社会の目
 - ✓ 少子・高齢化社会の加速
自然災害とならぶ、日本の最大のカントリーリスクが顕在化へ
 - ✓ コミュニティ参画の浸透
事業特性に即した地域や団体への寄与に高まる期待

私たちと ステークホルダー

ステークホルダーの声に耳を傾け、活かす仕組みづくりは、CSRを実践するための基本です。NTTコムウェアは、日々の対話を重んじ、グループのすべての職場で行動指針を徹底しています。



お客様・社会

行動指針

NTTコムウェアグループは、社会の重要な通信インフラ構築を担う企業として、災害に強く、かつ強固なセキュリティ環境を確保した多種多様なサービスの提供を可能とする通信インフラの構築及び高度な技術に基づく最適なICTソリューションの提供により、お客様や社会に安心・安全、便利で快適なコミュニケーション環境を提供することに全力を尽くします。

主な対話の機会

- ▷ お客さま相談窓口
- ▷ Webのお問い合わせ窓口
- ▷ 日常業務を通じた対話



株主

行動指針

NTTコムウェアグループは、高度な技術とノウハウを持って積極的に業務改善に取り組み、NTTグループの競争力向上に寄与することで、NTTの株主に対する価値を高めます。

主な対話の機会

- ▷ 投資家説明会
- ▷ 株主総会
- ▷ 継続的なIR活動



地域社会

行動指針

NTTコムウェアグループは、豊かな地域社会づくりを推進し、地域社会の課題の解決に取り組み、地域社会に貢献します。

主な対話の機会

- ▷ 地域の方から事業所へのお問い合わせ
- ▷ NGO・NPOとの協業
- ▷ コミュニティへの参画



環境

行動指針

NTTコムウェアグループは、CO₂削減のため森林資源保護活動に取り組むとともに、自らの環境負荷低減はもとより、事業活動においては、環境アセスメントを取り入れたICTソリューションの提供により、地球環境の保全に貢献します。

主な対話の機会

- ▷ 環境マネジメント監査を通じた意見交換
- ▷ 地域清掃活動
- ▷ 環境保護活動



社員

行動指針

NTTコムウェアグループは、人権を尊重し、心身ともに健康で明るく風通しの良い活力ある職場づくりに努力するとともに、一人ひとりが知恵を出し合い、自らが全力で行動し、課題の解決に取り組み、お客様や社会に喜ばれる会社づくりに邁進します。

主な対話の機会

- ▷ ホットライン
- ▷ 社員懇談会・労使の協議
- ▷ 人事面談



人と社会のコミュニケーション

日常のすべてが、世界の誰もが、ICTでつながる社会へ

より効率的で便利、スマートな世界を見据えた、価値創造
 私たちはICTのイノベーションを通じ、持続的な社会の実現に貢献します。

Connected



Value

私たちのアプローチ

NTTコムウェアは、ICTが日常生活で担う役割の高まりを受け、社会の安定した発展に貢献するソリューションの開発や提供を重要なミッションと位置づけ、確かな技術力とICTを活用する現場におけるノウハウの蓄積を続けています。

また、お客さまに期待されるソリューションの大規模化と複雑化が進んでいる中、NTTグループ各社へのソリューションや技術提供を通じ、高品質で信頼性の高いサービスの提供を図っています。

取り組みの柱

- ▷ お客さまへの価値創造を通じた持続可能な社会への貢献
- ▷ お客さま満足の継続的向上

成果のハイライト

2015年度はIoTの社会浸透が加速する中、快適で効率的な社会づくりに貢献するべく、ICTを活用した多彩なソリューションの開発を推進し、「タブレットを活用した能楽鑑賞ソリューション」をはじめとする多くの新たな成果をサービスインしました。

お客さま満足の継続的向上に向けた取り組みでは、品質管理の徹底はもちろん、CS改善サイクルの継続的強化をグループ横断で続けています。

Key Achievements

- ▷ 新たなサービス

8件

人と社会のコミュニケーション



私たちは、ICTリーディングカンパニーとして、技術の力と現場の力で、社会の発展に貢献します

ネットワークやモバイル・デバイスの普及・進化により、人びとの生活とビジネスに大きな革新をもたらしています。より効率的で、より便利な、スマートな社会へ。私たちは革新的なソリューションの開発を多彩に行っています。

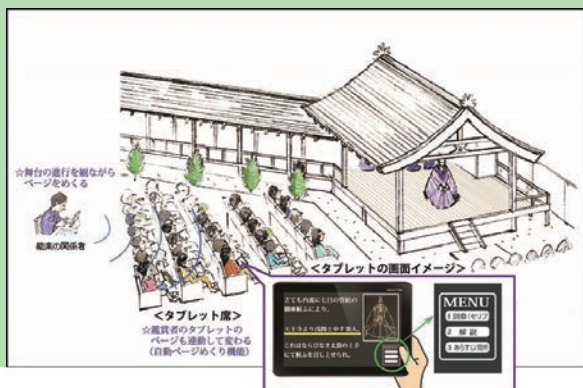
事例 01 ICTを活用した「能楽堂」での新たな鑑賞ソリューション

日本の伝統文化である能楽は、その確実な継承と、新たなファン層の拡大が課題となっています。また、年々増加する外国人観光客に対し、その醍醐味を効果的に紹介する手段が期待されています。このような中、NTTコムウェアは、2015年9月より矢来能楽堂で開始したICTを活用した鑑賞ソリューションの試験サービスに参加しています。

同サービスは、能楽の独特な表現をわかりやすく説明した文字・イラスト情報を、舞台の流れに合わせてタブレットに配信するもので、鑑賞者は今舞台上で何が行われているかをわかりやすく鑑賞できます。多言語での翻訳情報も配信可能なため、鑑賞初心者はもとより外国人観光客の方々にも鑑賞していただけます。

イメージ図(トライアル模様)

舞台が始まると、能楽の関係者が舞台の進行を観ながら詞章ページをめくりますので、鑑賞者のタブレットのページも自動でめくられ、常に舞台上で演じられている詞章を参照しながら能楽を楽しめます。



事例 02 お客さま満足度を高め続けるCS活動の徹底

NTTコムウェアは、CS(お客さま満足)活動として、アンケートおよびインタビューなどを通して、お客さまの声を受け止め期待に応えていく活動を継続して実施しています。また、CS活動の優良事例を社内に展開することで、社員のCSマインドおよび業務改善マインド向上、モチベーション向上につなげています。

具体的には、CS改善に効果をあげたプロジェクトを表彰する「CS賞」を設け、業務意識の向上を図るとともに、社内イントラサイト「COMWEB」を活用し、ノウハウの共有を行っています。2015年度は、CS賞で14のプロジェクトを表彰、優良事例を年4回掲載し、取り組みを着実に浸透することができました。



「CS賞」表彰式の模様



人と地球のコミュニケーション

次の世代へと、豊かで健やかな地球を託せる社会へ

地球と調和した「グリーンな未来」を育む、価値創造

私たちは「社会のグリーン化」と、「自社のグリーン化」に挑戦し続けます。

Green



Value

私たちのアプローチ

NTTコムウェアは、ICTリーディングカンパニーとして、「Green by ICT」を合言葉に、具体的な取り組み目標を設定し、自社ならびにお客さまの環境負荷低減に寄与する活動を継続しています。

また、それらの活動の成果はさまざまな環境活動を通じNTTグループ全体で共有し、企業をまたいだ取り組みを推進しています。

取り組みの柱

- ▷ 低炭素社会の実現
- ▷ 循環型社会の形成
- ▷ 生物多様性の保全

成果のハイライト

社会を低炭素社会化する重要性が世界規模で唱えられる中、NTTコムウェアも取り組みを加速しています。2015年度はスマートコミュニティの実現に寄与するIoTソリューションの実現と、自社のCO₂排出量の抑制に向けた継続的な取り組みを両輪として推進しました。一方、循環型社会の形成、ならびに生物多様性の保全に向けた取り組みも、引き続きすべての職場で徹底しています。

Key Achievements

- ▷ 自社の電気使用量の削減
2014年度 13,200万kwh ▶ 2015年度 12,900万kwh

300万kwh削減

人と地球のコミュニケーション



私たちは、ICTの力を結集し 事業活動におけるグリーン化に向け、日々、挑戦します

ICT機器は、性格上、稼働に電力をはじめとする資源を必要とします。一方、世界規模で低炭素化や循環型社会の実現といった「グリーンな社会づくり」に注目が集まっています。

私たちは、「グリーン化」をICT企業が提供すべき価値と位置づけ、先進技術の採用を推進しています。

事例 01 グリーンな社会づくりに貢献する HEMSコントローラー

現在、日本では低炭素な社会の実現に向け、各家庭におけるエネルギーの効率的な利用推進のため、電力の見える化や家電機器の遠隔制御等の家庭内のエネルギーを管理するエネルギー管理システム(HEMS^{*1})の設置が促進される一方、2016年の電力小売り完全自由化を受け電力小売り事業者が増加しています。

このような動きを踏まえ、NTTコムウェアは、NTT西日本の家庭向けセットトップボックス「光BOX+^{*2}」にHEMSコントローラー機能を備えた「光BOX+ (EMS版)」を2013年10月より提供しています。同サービスでは、スマートメーターとの接続認証を取得し、多くの家庭にあるテレビを活用した電力使用量の見える化や、エアコンやガス給湯器等の機器制御を可能としています。

効率的なエネルギー使用・節電意識の高まりに寄与し、省エネに貢献しています。



家全体の電力使用量の見える化

*1 Home Energy Management System

*2 光回線をテレビに接続することで簡単に「スマートTV」化してインターネットに接続しさまざまなコンテンツをお楽しみいただけるセットトップボックス。「光BOX」は、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の商標です。

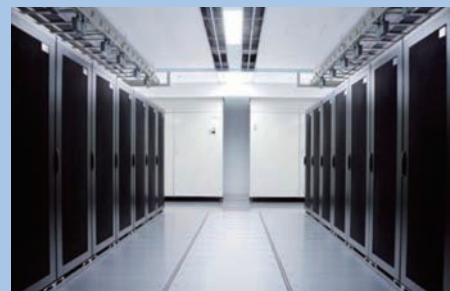
事例 02 自社のCO₂排出量削減に向けた 継続的な取り組み

NTTコムウェアでは、ICTによる環境負荷低減を実現する事業を展開する企業として、自社の低炭素化を基本的な責任と位置づけ、データセンターとオフィスビルの双方で、積極的な取り組みを続けてきました。

2015年度は、増大するデータセンターの需要にともなう設備の増設に対する省エネ施策として、マシン空調環境改善、高効率空調設備への更改などを実施しました。さらに、オフィスの省エネ施策として、LED照明の導入などを実施しました。また、夏季のクールビズ、冬季のウォームビズなども積極的に展開し、全員参加の省エネに努めています。

これらの結果、電力消費量は、2015年度の目標を達成することができました。

データセンター、オフィスビル双方で進む省エネ



きめ細かく空調制御されたサーバールーム



LED照明の積極導入



安心・安全なコミュニケーション

すべての人が安心・安全に暮らせる、ICTに守られた社会へ

常に見守られ、安心・快適な日常を支える、価値創造

私たちはレジリエントでセキュアな社会インフラの構築を推進します。

Safe
↓
Value

私たちのアプローチ

NTTコムウェアは、情報インフラに従事するNTTグループの一員として、その円滑な運用・保守を実現する事業体制を整備しています。また、ネットワーク技術の進化にともない発生し続ける新たなセキュリティリスクに対しても信頼性の高い技術を積極的に開発・展開しています。「安心・安全」を徹底し、お客さまはもちろん、社会の皆さまの信頼を得られるよう、日々、取り組んでいます。

取り組みの柱

- ▶ 重要インフラとしての高い安定性と信頼性の確保
- ▶ 情報セキュリティの確保
- ▶ 情報セキュリティの人材の育成

成果のハイライト

インターネットを経由したサイバー犯罪の深刻化を踏まえ、セキュリティ体制の強化をICT企業の基本的責任と位置づけ、研修を徹底しています。また、天候の激甚化、自然災害の多発化を踏まえ、日本ではレジリエントな社会インフラの構築が急務となっています。NTTコムウェアもこれに資するべく尽力しており、2015年度も「タンジブル災害対策支援システム」をはじめ多彩なソリューションを提供しました。

Key Achievements

- ▶ 情報セキュリティ研修 受講率

社員 100%

安心・安全なコミュニケーション



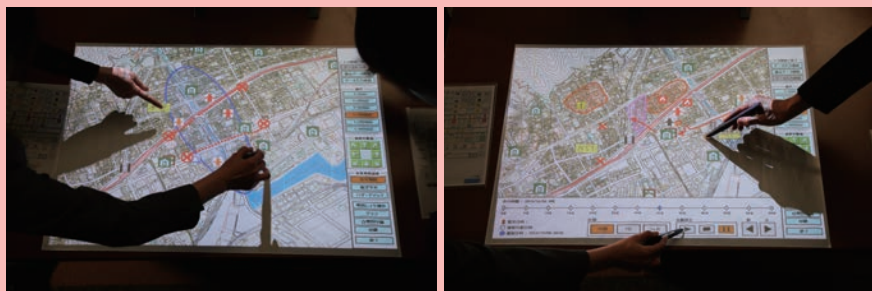
私たちは、情報インフラ企業の使命を胸に、 皆さまの安心で安全な生活を支え、守ります

ICTが社会に浸透するにつれ、日常生活はより快適に、経済活動はより効率的になっています。しかし同時に、ICTを悪用した犯罪の出現や、自然災害など有事における通信の途絶といった、新たな社会的な課題も生まれています。便利であると同時に、安全・安心な社会へ。私たちは「社会を守るICT」を全員で考えています。

事例 01 「もしも」の時へと万全に備える 「タンジブル災害対策支援システム」

災害対策の現場では、情報の錯綜や混乱により適切な情報を把握できず、指揮・支援活動に支障をきたすことが少なくありません。また従来のように防災情報を「紙ベースで集積」する手法では、正確な情報統合、時系列な整頓、関連組織での共有に制約があります。

NTTコムウェアが開発したタンジブル災害対策支援システムは、デジタルペンと電子地図を活用し、刻々と変化する災害情報を手書き感覚による簡単操作で最新情報を地図上に投影します。災害対策本部と災害現場や拠点間との双方向の情報伝達も可能です。これにより有事の際はリアルタイムでの確かな情報共有はもちろん、平常時には防災計画の立案から地域住民や教育機関向けの防災意識向上に大きく貢献します。



タンジブル災害対策支援システム

事例 02 ビジネス基盤を支える、 グローバル基準対応データセンター

クラウドサービスの普及などにともない、ミッションクリティカルなお客さまのビジネス基盤を支えるデータセンターの重要性は増し続けており、そのセキュリティーと可用性(安定的な稼働)の実現は、ICT企業にとって不断の責務となっています。

NTTコムウェアは、データセンター事業における受託業務の内部統制の有効性を保証する「SOC2保証報告書」【Type2】*を、2015年より継続取得しています。

同報告書は、セキュリティーおよび可用性に関する内部統制の国際基準 (ISAE3000) への適合性を独立監査人が保証したものであり、国内で取得している企業は限られています。NTTコムウェアでは同報告書の取得を契機に、データセンターの信頼性を高める取り組みをさらに加速します。

*米国公認会計士協会 (AICPA) が定める受託業務の内部統制保証報告書。
Type2とは内部統制の整備状況および運用状況についての評価。



SOC2保証報告書【Type2】受領



チームNTTのコミュニケーション

多様性が尊重され、皆が生き生きと暮らす社会へ

すべての人が、自分らしく活躍する社会を実現する、価値創造

私たちはすべての人、コミュニティの多様性を尊重し、社会とともに成長します。

Diverse



Value

私たちのアプローチ

NTTコムウェアは、持続可能な事業活動を通じてお客さまや社会の皆さまに信頼され続けるため、調和のとれた事業運営に取り組んでいます。法令遵守はもちろんのこと、ともに働く人びとへの公正な処遇や多様性の尊重、地域社会への貢献等を柱に据え、さまざまな活動を推進しています。これらの活動は「チームNTT」としてNTTグループ横断で取り組んでいる活動であり、NTTコムウェアのCSR志向経営の基盤ともなっています。

取り組みの柱

- ▷ 企業倫理・コンプライアンス意識の向上
- ▷ 多様性の尊重と機会均等に向けた取り組み
- ▷ 心身の健康増進
- ▷ 社会貢献活動の実施

成果のハイライト

多様性の尊重は世界共通の課題であり、日本でも2015年に女性活躍推進法が成立するなど、多様な能力を十分に発揮できる社会の実現が求められています。NTTコムウェアではかねてより女性をはじめとする多様性の尊重に取り組んでおり、2015年度も着実に成果をあげています。また場所や時間の制約に柔軟に対応できる働き方改革を実現するソリューションにも関心が集まっており、これに資するべくソリューションの開発を続けています。

Key Achievements

- ▷ 女性活躍推進 女性管理者

2016年4月1日現在

3.31%

チームNTTのコミュニケーション



私たちは、チームとして、企業市民として、 調和ある事業を進めていきます

多様性の尊重と、社会のさまざまなコミュニティとの連携は、経済のグローバル化、社会のボーダレス化を受け、その重要度を増し続けています。私たちは、人種や信教、身体的特徴が個性として尊重され、一人ひとりの力が活かされる社会の実現と、多様な社会的集団が調和しつつ共栄する社会の実現を、人類全体の課題と位置づけ、積極的に取り組みます。

事例 01 より柔軟な働き方に貢献する モバイルアプリケーション「シャナイン」

多様性を活かす社会を実現する上で、柔軟な働き方を実現するビジネスの仕組みづくりは大きな鍵となるとNTTコムウェアは考えています。法人向けモバイルアプリケーション「シャナイン」シリーズは、このような観点に立ち開発されました。

クラウド技術を積極的に活用した同サービスでは、多様な端末から社内の最新の業務情報にアクセスできるだけでなく、1対1およびグループで使えるチャット機能を持ち、オフィスと外出先・在宅勤務を結ぶリアルタイムな報告・連絡・相談手段として活躍します。場所や時間に柔軟な作業環境を実現するツールとして、同サービスは企業の業務効率改善へと寄与すると同時に、社会の皆さまの多様な働き方を促進します。



トーク機能

連絡先機能

グループ機能

事例 02 次世代育成法・女性活躍推進法への対応

ビジネスの現場における女性の活躍促進は、世界的な社会課題です。日本でもその実現に向けた取り組みが官民連携で模索されています。とくに企業には、女性の積極的な登用を促進する仕組み・企業風土づくりが期待されています。

NTTコムウェアは、2005年に施行された「次世代育成法(次世代育成支援対策推進法)」に基づいて認定マーク(愛称:くるみん)を取得しています。また、2020年までに女性管理者比率を大きく引き上げることがをめざし、多様な社員がワーク・ライフ・マネジメントを発揮できる仕組みづくりに加え、それを促す企業風土の醸成に向けた社員啓発活動を多面的に実施するなど、2016年4月に施行された「女性活躍推進法(女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)」にも積極的に取り組んでいます。



女性リーダー層ワーキング活動の様子



管理者向け研修の様子

CSR詳細情報

NTTコムウェアグループのCSR

安心・安全で豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献

NTTコムウェアグループは、情報通信の基盤を担う責任ある企業群として、安心・安全で豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献します。

NTTコムウェアグループのCSRの考え方

NTTコムウェアグループにおけるCSRは、お客さまをはじめとする幅広いステークホルダーに価値を提供しつつ、社会全体の持続的発展に寄与しようとするものです。NTTグループが一体となった取り組みに参画するとともに“NTTコムウェアグループらしさ”も追求しています。

NTTコムウェアグループCSR活動指針

NTTコムウェアグループは、高い倫理観を持ち、地球、社会の一員としての自覚のもとに、情報通信の基盤を担う責任ある企業群として、最新技術によるネットワークの構築やICTソリューションの提供を通じて、安心・安全で豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献します。

NTTコムウェアのビジョン

▶アイデンティティ

NTTコムウェアは、システムの品質と信頼性を追求し、豊かなコミュニケーション社会の実現に貢献します。

▶価値・行動基準

- お客様のために
お客様の持続的な発展のために、ともに考え、ともに行動します。
- 株主のために
企業価値向上のために、プロフェッショナルを目指します・育てます。
- 社会のために
社会の安定のために社会の一員としての役割を果たし、ルールを守ります。

- 上司、部下、同僚のために
最高のチームパフォーマンスのために、“わかっているけど誰もやっていない仕事”に、進んで取り組みます。
- 自分自身のために
自分の夢を実現するために、自らの可能性を信じ、〇〇し続けます。

▶人権基本方針

NTTコムウェアグループは、「人間を尊重し、同和問題をはじめ、あらゆる差別を許さない企業体質の確立をめざす」ことを基本方針とし、人権啓発に関するさまざまな取り組みを実施しています。

CSR詳細情報

CSR活動ダイジェスト

2015年度の主なCSR活動実績と2016年度の施策

NTTコムウェアグループでは、NTTグループのCSRテーマ、重点活動項目に沿ってCSR活動を整理し、取り組んでいます。

CSRテーマ	重点活動項目	主な取り組み	2015年度の実績	自己評価	2016年度の施策	
I. 人と社会のコミュニケーション	本業を通じた持続可能な社会への貢献	新サービスの創造	▶ 「光BOX+」を活用した電力小売り事業者等へのHEMSサービス提供開始 ▶ ITを活用して能率の独特な表現をわかりやすく説明した文字・イラスト情報を、タブレットに配信するサービスの試験提供	○	▶ 健康サービスの普及を目的とした健康増進サービストライアルにて「光BOX+」を活用した運動コンテンツ配信技術を提供 ▶ DeepLearning技術を用いた新サービスの創造（不適切コンテンツフィルタリング、路面不具合検出、不審者検知など） ▶ 障がいのある方、訪日外国人の利用を想定した製品（ユニバーサルデザインマップトライアル、機能拡充） ▶ 聴覚障がいのある方にも能率を楽しんでいただけるように、舞台進行に合わせてタブレットに詞章・解説を表示するサービスを試験提供	
	お客さま満足に向けた取り組み*	品質向上への取り組み	▶ 品質マネジメントシステム(QMS)の継続的な取り組み ▶ ITサービスマネジメントシステム(ITSMS)の継続的な取り組み	○	▶ 品質マネジメントシステム(QMS)の継続的な取り組み ▶ ITサービスマネジメントシステム(ITSMS)の継続的な取り組み	
		CS**改善サイクルの定着化	▶ お客さまのご意見・ご要望をもとに継続的な改善を実施	○	▶ 従来の取り組みを継承しながら、よりお客さまの役に立つ取り組みとなるように調査方法を見直し実施	
II. 人と地球のコミュニケーション	低炭素社会の実現	電力消費量の削減	▶ 電力消費量 129百万kwh(2014年度に対して2%削減)	○	▶ データセンター：高効率空調・電力設備へ更改、空調環境改善、マシン撤去 ▶ オフィスビル：空調設備の効率的な運転、照明・OA機器の節電	
	循環型社会の形成	産廃物最終処分量の削減	▶ 一般廃棄物のリサイクル率 99% (2014年度に対して増減無し)	○	▶ 一般廃棄物のリサイクル率の前年度実績維持	
		紙排出量の削減	▶ OA用紙購入箱数 7,975箱 (2014年度に対して17%削減)	○	▶ ペーパーレス会議等によるOA用紙の抑止 (OA用紙購入量 前年度以下)	
	生物多様性の保全	事業活動を軸とした展開	▶ 「企業の森・NTTコムウェアの森(青梅)」の維持	○	▶ 環境調査(植生調査)の実施 ▶ 地域イベントへの参加	
III. 安心・安全なコミュニケーション	重要インフラとして高い安定性と信頼性の確保	大規模災害への備え	▶ NTTコムウェア災害対策訓練の実施 ▶ 災害対策本部員 基本行動訓練の実施	○	▶ NTTコムウェア全社災害対策本部、各組織災害対策本部の機能整備 ▶ 組織間連携を踏まえた災害対策オペレーションの充実 ▶ 全社災害対策訓練の実施	
	情報セキュリティの確保	情報漏えいの防止	▶ 各組織の推進機能定着に向けたルール/施策の展開	○	▶ サイバー攻撃等のセキュリティ脅威の対応力の強化	
		セキュリティ意識の維持・向上	▶ セキュリティ意識向上のため、全社員・協働者を対象にした情報セキュリティ・個人情報保護研修の実施	○	▶ 全社員・協働者を対象にした情報セキュリティ・個人情報保護研修の実施	
	セキュリティ活動の改善、定着・維持	▶ 情報セキュリティ人材の創出・育成、セキュリティコンテスト開催	○	▶ ISMS認証資格およびPPマーク使用許諾の維持		
IV. チームNTTのコミュニケーション	企業倫理の推進*	倫理観の高揚と不正・不祥事の回避	▶ 階層別コンプライアンス研修の実施(経営層、部長、課長、新任SP・主査) ▶ CSR標語の募集・表彰・掲示など ▶ WBT**による企業倫理研修(全社員)の実施 ▶ 社員意識アンケート調査の実施	○	▶ 階層別コンプライアンス研修の実施(経営層、部長、課長、SP・主査) ▶ CSR標語の募集・表彰・掲示など ▶ WBT**による企業倫理研修(全社員)の実施 ▶ 社員意識アンケート調査の実施	
		人権啓発活動の実施	▶ 階層別研修(6~9月)およびWBT**による全社員研修の実施 ▶ 人権標語の募集(10月)と表彰 ▶ 人権職場学習会の実施(11月)(本社、支店) ▶ WBT**によるCSR研修(12月)、社員意識アンケート調査(1月)	○	▶ 階層別研修およびWBT**による全社員研修の実施 ▶ 人権標語の募集および社内掲示による啓発活動の実施 ▶ 人権啓発推進者研修と人権職場学習会の実施 ▶ WBT**によるCSR研修(12月)、社員意識アンケート調査(1月)	
		多様性の尊重と機会均等に向けた取り組み	多様な働き方の支援	▶ 女性管理者比率 3.31% (2016年4月1日現在) ▶ 女性リーダー層ワーキング/男女マネージャ会活動の実施 ▶ ダイバーシティ推進セミナー(介護) ▶ 育児休職取得者・復職者への各種支援の実施(セミナー、面談など)	○	▶ ダイバーシティ・マネジメント研修(全既任課長)の実施 ▶ 女性リーダー層ワーキング/男女マネージャ会活動の実施 ▶ 介護と仕事の両立に関するハンドブックの配布 ▶ 育児休職取得者・復職者への各種支援の実施(セミナー、面談など)
		健康に、安心して働ける職場づくり*	障がい者の受け入れ・支援の充実	▶ 障がい者雇用率 2.07% (2016年3月31日現在)	○	▶ 障がい者雇用率の維持・向上
			メンタルヘルス教育の実施	▶ 新入社員・新任管理者の面談 100%実施 ▶ 管理者メンタルヘルス研修 92.4%受講 ▶ メンタルチェック実施率 98.2%	○	▶ 健康診断受診 100% ▶ 特定保健指導実施率 60% ▶ 全社員対象を対象としたストレスチェックの実施
		社会貢献活動	社員参加型による取り組み	▶ エコキャップ推進運動への参加(NTTコムウェアグループ) ▶ 各種清掃活動への参加(NTTコムウェアグループ) ▶ ミニバレーボール大会の開催(北海道支店) ▶ ボランティアギフト・プログラム(NTTコムウェアグループ) ▶ TABLE FOR TWOへの参加(NTTコムウェア)	○	▶ 「社員参加型」、「事業特性」、「地球環境保護」の3つの視点から活動テーマを設定し、自主的な取り組みによる社会貢献活動を積極的に推進
		事業特性にマッチした取り組み	▶ 全国のNPO法人へ137台のPCを寄贈(NTTコムウェア) ▶ 非常用備蓄食料の寄贈(東日本支店)	○	▶ 「*」のエコキャップ運動、各種清掃活動への参加は、NTTグループ共通の活動テーマでもあり、引き続き積極的に取り組み	
		地球環境保護に対する取り組み	▶ いなげ海岸清掃活動(千葉県) ▶ 屋上緑化の取り組み(西日本支店) ▶ 不要携帯電話機の回収(西日本支店) ▶ フラタプの収集(東日本支店) ▶ 「東村山中央公園森林整備作業」への参加(NTTインターネット)	○		

*1 NTTコムウェアグループとしてのCSR重点活動項目
 *2 Customer Satisfaction (お客さま満足)
 *3 Web Based Training (インターネットを利用した教育学習システム)

企業情報

企業概要

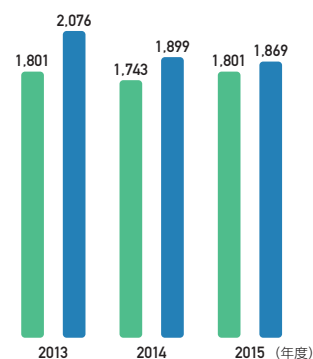
社名	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 (略称:NTTコムウェア)
本社所在地	〒108-8019 東京都港区港南1-9-1 NTT品川TWINSアネックスビル
資本金	200億円
株主	日本電信電話株式会社
創業	1997年9月1日

グループ会社

NTTインターネット株式会社

売上高

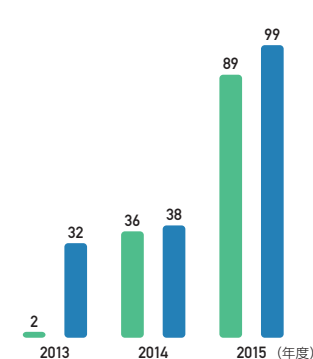
(億円)



■ NTTコムウェア(単独)
■ NTTコムウェアグループ

営業利益

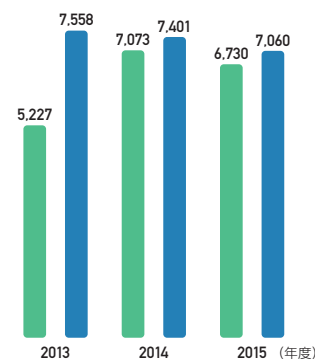
(億円)



■ NTTコムウェア(単独)
■ NTTコムウェアグループ

社員数

(人)



■ NTTコムウェア(単独)
■ NTTコムウェアグループ

編集方針

編集にあたって

NTTコムウェアグループは、2007年度より「NTTコムウェアグループCSR報告書」を発行し、CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) 活動の状況を皆さまにお伝えしています。2016年版は2013年版から引き続き、社会に対する影響が大きかつNTTコムウェアグループにとっても重要度の高いテーマを中心にハイライト版としてまとめています。

なお、報告内容の整理にあたっては、NTTグループ全体のCSR活動との調和を図るため、NTTグループCSR憲章を参照しています。

ステークホルダーの皆さまとの活発なコミュニケーションが生まれるよう、NTTコムウェアグループのCSR活動をわかりやすくご報告しております。

報告対象組織

原則として、NTTコムウェアグループ全体の取り組みについて報告しています。なお、NTTコムウェア単独または各グループ会社の取り組みについて報告している箇所では、それぞれの名称をあげています。

報告対象期間

2015年4月1日~2016年3月31日
(一部、2016年4月以降の取り組みについても報告しています。)

参考ガイドライン

GRIサステナビリティレポートガイドライン(G4版)

発行時期

2017年1月(前回発行2015年11月)

*人名、団体名、公共機関名などは原則として敬称を略しています。
*その他記載されている社名、商品名は各社の商標または、登録商標である場合があります。

お問い合わせ窓口

NTTコムウェア株式会社
総務人事部 CSR推進室
〒108-8019 東京都港区港南1-9-1
NTT品川TWINSアネックスビル
Tel: 03-5463-5756
Fax: 03-5479-9218
E-mail: csr@nttcom.co.jp



エコICTマーク

「エコICTマーク」とは、ICT分野におけるエコロジーガイドライン協議会が定めるシンボルマークです。電気通信事業者が適切にCO₂排出削減の取り組みを自己評価し、その取り組み状況に応じて「エコICTマーク」を表示し、適切に活動していることを広く公表することができます。

NTTコムウェアは、電気通信事業に関わる企業としてCO₂削減に取り組んでまいります。

